

# なでしこ銘柄

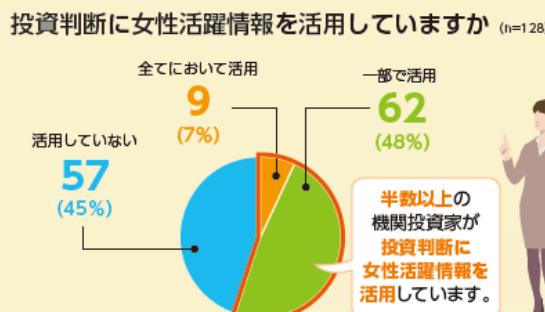


なでしこ銘柄は、今年度で10年目！

経済産業省と東京証券取引所では、平成24年度より、女性の活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定しており、**今年度で10年目**を迎えます。 「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することで**企業への投資を促し**、多様性を重視する**労働市場からの注目**も集めることで、各社の女性活躍推進に向けた取組を後押ししています。

## 機関投資家が注目する女性活躍情報

内閣府が機関投資家等を対象に実施したアンケート調査によると、**半数以上の機関投資家が投資判断において女性活躍情報を活用**していると回答。 そのうち**約9割**の機関投資家が、投資判断や業務において女性活躍情報を活用する理由として、「**企業の業績に長期的には影響がある情報**と考えるため」と回答。



### ◀投資判断への女性活躍情報の活用

▶投資判断等に女性活躍情報を活用する理由

### 投資判断や業務において女性活躍情報を活用する理由

(2020年 n=71) (2018年 n=119)

投資判断に女性活躍情報を活用している機関投資家のうち、  
女性活躍情報は企業の業績に  
長期的には影響があると考える  
機関投資家は**約9割**となりました。



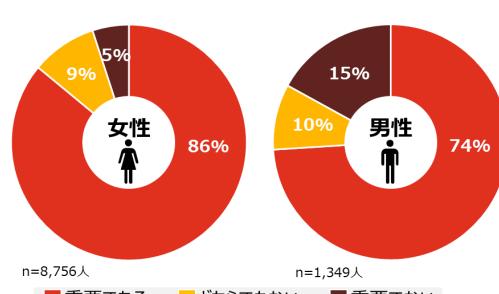
(注) 2018年と2020年とでは設問の構成が異なるため、単純な比較はできない。

内閣府「令和2年度 ジェンダー投資に関する調査研究 報告書概要版」より

## 労働市場も多様性を重視

ミレニアル世代の人材は、就職先を選定する際に、**企業の「多様性や受容性の方針」を重視**しており、特に女性はこの傾向が顕著。

### ミレニアル世代に対する調査 問. 多様性・受容性の方針は就職先を決める上で重要か？



(注記) 回答者：ミレニアル世代（1980年～1995年生まれ）の男性 1,349人、女性8,756人  
(出所) PwC ミレニアル世代の女性：新たな時代の人材（2015年）

